
業績ハイライト

－ 2019年3月期決算について －



目次

1. 損益の状況	…	1
2. 自己資本比率の状況	…	4
3. 貸出金の状況	…	5
4. 預金の状況	…	6
5. 預かり資産の状況	…	7
6. 有価証券の状況	…	8
7. 金融再生法開示債権の状況	…	9
8. 経営指標	…	10
9. 2020年3月期 業績予想及び配当方針	…	10

1. 損益の状況

① じもとホールディングス連結

(単位:百万円、%)

	2019年3月期			2018年3月期
		前年同期比	増減率	
連結経常収益	42,850	183	0.4	42,666
経常利益	2,592	△ 1,124	△ 30.2	3,717
親会社株主に帰属する当期純利益	1,630	△ 1,387	△ 45.9	3,018

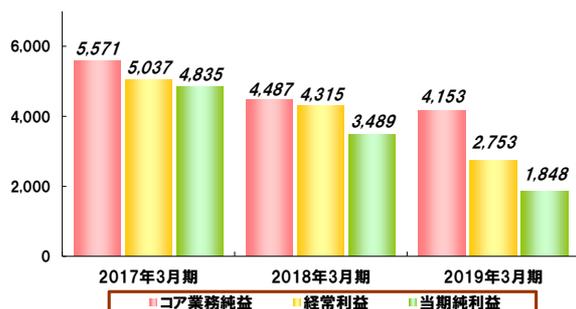
- じもとホールディングスの連結経常収益は428億50百万円、経常利益は25億92百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は16億30百万円となりました。

② 2行合算

(単位:百万円、%)

	2019年3月期			2018年3月期
		前年同期比	増減率	
経常収益	37,286	△ 132	△ 0.3	37,419
業務粗利益	28,860	△ 808	△ 2.7	29,669
資金利益	26,645	△ 1,974	△ 6.8	28,619
役務取引等利益	2,019	145	7.7	1,874
その他業務利益	196	1,020	-	△ 824
うち国債等債券損益	△ 287	520	-	△ 807
経費(除く臨時処理分)	24,994	△ 995	△ 3.8	25,989
うち人件費	12,448	△ 367	△ 2.8	12,815
うち物件費	10,760	△ 466	△ 4.1	11,227
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,866	186	5.0	3,679
コア業務純益	4,153	△ 333	△ 7.4	4,487
一般貸倒引当金繰入額	154	274	-	△ 119
業務純益	3,711	△ 87	△ 2.3	3,799
臨時損益	△ 958	△ 1,474	-	515
うち不良債権処理額	1,541	714	86.4	826
うち個別貸倒引当金繰入額	377	△ 92	△ 19.7	470
うち貸倒引当金戻入益	393	104	35.9	289
うち株式等関係損益	616	△ 858	△ 58.2	1,474
経常利益	2,753	△ 1,562	△ 36.2	4,315
特別損益	△ 390	△ 90	-	△ 299
当期純利益	1,848	△ 1,640	△ 47.0	3,489
与信関係費用	1,300	893	219.2	407

(単位:百万円)



- 2行合算の経常収益は、前年同期比1億32百万円減少の372億86百万円(増減率△0.3%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比3億33百万円減少の41億53百万円(増減率△7.4%)となりました。
- 経常利益は与信関係費用の増加および株式等関係損益の減少などから前年同期比15億62百万円減少の27億53百万円、当期純利益は前年同期比16億40百万円減少の18億48百万円となりました。

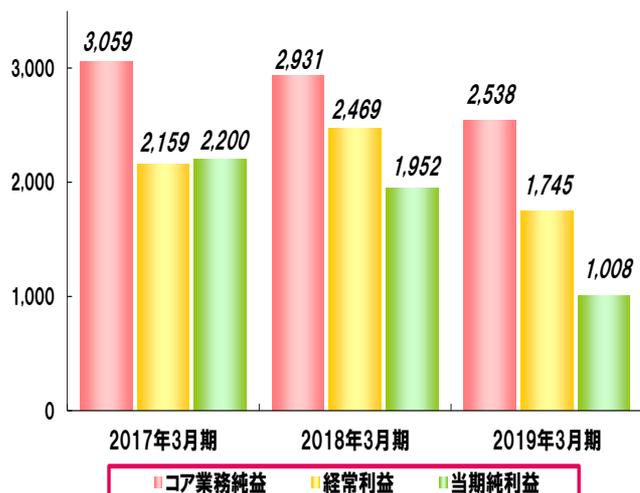
1. 損益の状況

③ きらやか銀行単体

(単位:百万円、%)

	2019年3月期			2018年3月期
		前年同期比	増減率	
経常収益	21,097	△ 555	△ 2.5	21,652
業務粗利益	16,891	△ 678	△ 3.8	17,570
資金利益	14,850	△ 1,968	△ 11.7	16,818
役務取引等利益	1,454	117	8.7	1,337
その他業務利益	586	1,172	-	△ 585
うち国債等債券損益	13	633	-	△ 620
経費(除く臨時処理分)	14,339	△ 918	△ 6.0	15,258
うち人件費	7,077	△ 571	△ 7.4	7,648
うち物件費	6,307	△ 244	△ 3.7	6,551
業務純益(一般貸倒繰入前)	2,551	240	10.3	2,311
コア業務純益	2,538	△ 393	△ 13.4	2,931
① 一般貸倒引当金繰入額	-	-	-	-
業務純益	2,551	240	10.3	2,311
臨時損益	△ 805	△ 963	△ 608.3	158
② うち不良債権処理額	554	348	168.4	206
うち個別貸倒引当金繰入額	-	-	-	-
うち貸倒引当金戻入益	393	104	35.9	289
うち株式等関係損益	△ 159	△ 759	△ 126.6	599
経常利益	1,745	△ 723	△ 29.3	2,469
特別損益	△ 279	△ 104	-	△ 174
当期純利益	1,008	△ 944	△ 48.3	1,952
与信関係費用	160	249	-	△ 88

(単位:百万円)



- 経常収益は、株式相場下落の影響により有価証券利息配当金が減少したことなどから、前年同期比5億55百万円減少の210億97百万円(増減率△2.5%)となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が前年同期比で9億18百万円減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比3億93百万円減少の25億38百万円(増減率△13.4%)となりました。
- 臨時損益は、株式相場の下落による保有株式の損失処理及び減損処理を実施したことなどから、前年同期比9億63百万円減少の△8億5百万円となりました。
- 与信関係費用は、前年同期比2億49百万円増加の1億60百万円となりました。
- この結果、経常利益は前年同期比7億23百万円減少の17億45百万円、当期純利益は前年同期比9億44百万円減少の10億8百万円となりました。

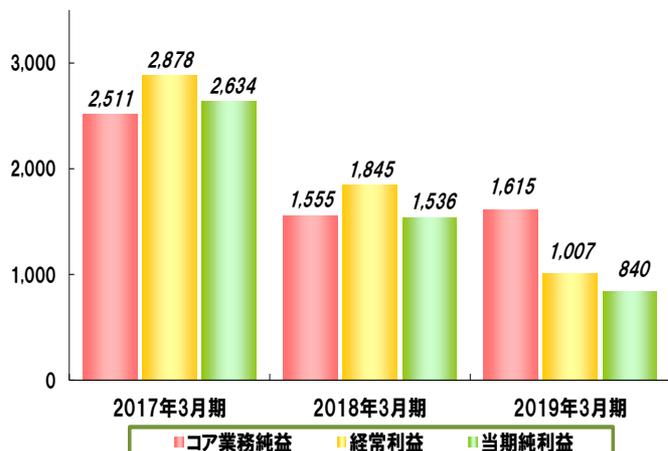
1. 損益の状況

④ 仙台銀行単体

(単位:百万円、%)

	2019年3月期			2018年3月期
		前年同期比	増減率	
経常収益	16,189	422	2.6	15,766
業務粗利益	11,969	△ 129	△ 1.0	12,099
資金利益	11,794	△ 5	△ 0.0	11,800
役務取引等利益	565	28	5.2	537
その他業務利益	△ 390	△ 152	-	△ 238
うち国債等債券損益	△ 300	△ 113	-	△ 187
経費(除く臨時処理分)	10,655	△ 76	△ 0.7	10,731
うち人件費	5,370	204	3.9	5,166
うち物件費	4,453	△ 222	△ 4.7	4,675
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,314	△ 53	△ 3.9	1,368
コア業務純益	1,615	59	3.8	1,555
①一般貸倒引当金繰入額	154	274	-	△ 119
業務純益	1,160	△ 327	△ 22.0	1,488
臨時損益	△ 153	△ 510	-	357
②うち不良債権処理額	986	366	59.1	619
うち個別貸倒引当金繰入額	377	△ 92	△ 19.7	470
(貸倒償却引当費用①+②)	1,140	640	128.1	500
うち貸倒引当金戻入益	-	-	-	-
うち株式等関係損益	775	△ 99	△ 11.3	875
経常利益	1,007	△ 838	△ 45.4	1,845
特別損益	△ 110	13	-	△ 124
当期純利益	840	△ 696	△ 45.3	1,536
与信関係費用	1,139	643	129.7	495

(単位:百万円)



- 経常収益は、有価証券利息配当金が減少したものの、貸出金利息、生命保険販売手数料、株式等売却益、国債等債券売却益が増加したことなどから、前年同期比4億22百万円増加の161億89百万円となりました。
- 銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、生命保険販売手数料の増加等による役務取引等利益の増加に加え、物件費が減少したことなどから、前年同期比59百万円増加の16億15百万円となりました。
- 与信関係費用は、一般貸倒引当金繰入額および不良債権処理額の増加等により、前年同期比6億43百万円増加の11億39百万円となりました。
- 経常利益は前年同期比8億38百万円減少の10億7百万円、当期純利益は前年同期比6億96百万円減少の8億40百万円となりました。

2. 自己資本比率の状況

① じもとホールディングス連結

自己資本比率の推移

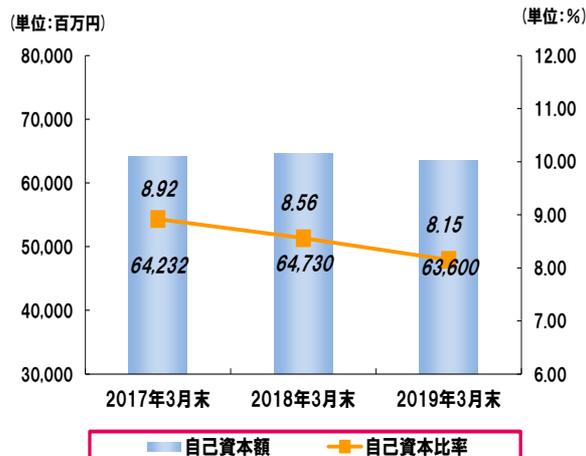


● じもとホールディングスの連結自己資本比率は8.39%となりました。

	2019年3月末			2018年3月末
	2018年3月末比	増減率		
連結自己資本比率	8.39	△ 0.31	△ 3.56	8.70

② きらやか銀行

自己資本比率(単体)の推移



● 単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2018年3月末比0.41ポイント低下の8.15%となりました。

	2019年3月末			2018年3月末
	2018年3月末比	増減率		
自己資本比率【単体】	8.15	△ 0.41	△ 4.78	8.56
自己資本比率【連結】	8.05	△ 0.41	△ 4.84	8.46

③ 仙台銀行

自己資本比率の推移

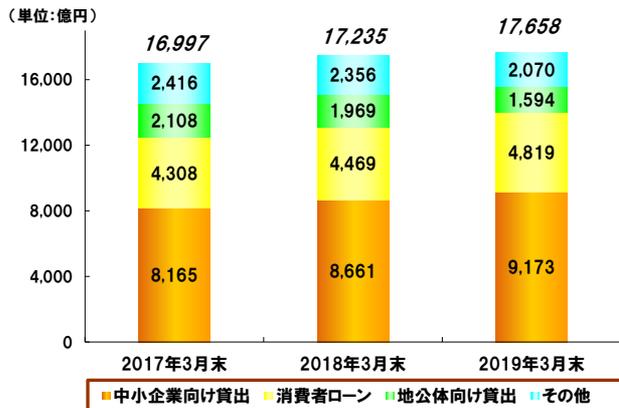


● 自己資本比率は、当期純利益を8億40百万円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2018年3月末比0.22ポイント低下の8.83%となりました。

	2019年3月末			2018年3月末
	2018年3月末比	増減率		
自己資本比率	8.83	△ 0.22	△ 2.43	9.05

3. 貸出金の状況

① 2行合算

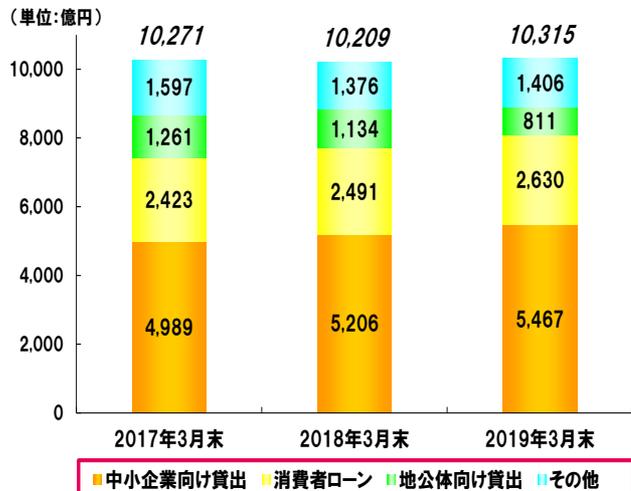


● 2行合算の貸出金残高は、2018年3月末比422億84百万円増加の1兆7,658億23百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
貸出金(末残)	1,765,823	42,284	2.4	1,723,539
うち中小企業向け貸出残高	917,353	51,183	5.9	866,170
うち消費者ローン	481,914	34,981	7.8	446,933
うち住宅ローン	438,692	35,531	8.8	403,160
うち地方公共団体向け貸出	159,487	△ 37,439	△ 19.0	196,927

② きらやか銀行



● 貸出金残高は、地公体向け貸出が減少したものの、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したことにより、2018年3月末比105億94百万円増加の1兆315億56百万円となり、きらやか銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

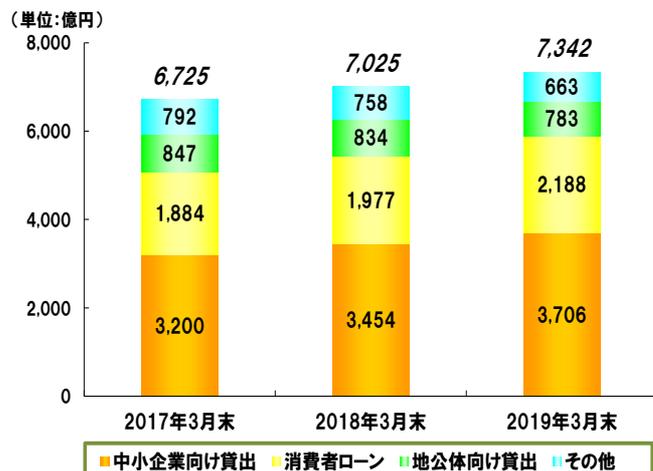
● 中小企業向け貸出は、本業支援を着実に実施した結果2018年3月末比260億20百万円増加の5,467億5百万円となりました。

● 消費者ローンは、住宅ローン残高が増加したことなどから、2018年3月末比138億52百万円増加の2,630億29百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
貸出金(末残)	1,031,556	10,594	1.0	1,020,961
うち中小企業向け貸出残高	546,705	26,020	4.9	520,685
うち消費者ローン	263,029	13,852	5.5	249,177
うち住宅ローン	245,802	14,622	6.3	231,180
うち地方公共団体向け貸出	81,124	△ 32,353	△ 28.5	113,477

③ 仙台銀行



● 貸出金残高は、2018年3月末比316億89百万円増加の7,342億67百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

● 中小企業向け貸出は、本業支援を通じてお客さまの資金需要へ積極的に対応したことから、2018年3月末比251億63百万円増加の3,706億48百万円となりました。

● 消費者ローンは、住宅ローン等の増加により、2018年3月末比211億29百万円増加の2,188億85百万円となりました。

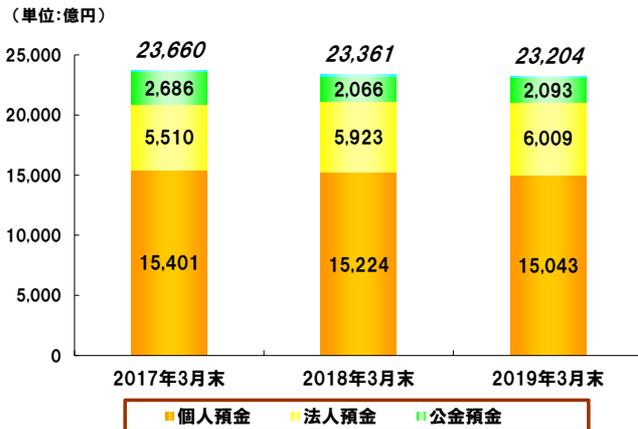
● 地方公共団体向け貸出は、2018年3月末比50億86百万円減少の783億63百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
貸出金(末残)	734,267	31,689	4.5	702,577
うち中小企業向け貸出残高	370,648	25,163	7.2	345,485
うち消費者ローン	218,885	21,129	10.6	197,756
うち住宅ローン	192,889	20,909	12.1	171,980
うち地方公共団体向け貸出	78,363	△ 5,086	△ 6.0	83,450

4. 預金（譲渡性預金を含む）の状況

① 2行合算



- 2行合算の預金残高は、2018年3月末比156億78百万円減少の2兆3,204億96百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	2,320,496	△ 15,678	△ 0.6	2,336,175
うち個人預金	1,504,351	△ 18,054	△ 1.1	1,522,406
うち法人預金	600,985	8,658	1.4	592,327
うち公金預金	209,384	2,739	1.3	206,645

② きらやか銀行



- 預金残高は、2018年3月末比277億11百万円減少の1兆2,643億円となりました。
- 個人預金は、流動性預金が増加したものの、高利回り商品を抑制し定期預金が減少したことなどにより、2018年3月末比229億74百万円減少の8,539億48百万円となりました。
- 法人預金は、中小企業向け預金を中心に、2018年3月末比19億85百万円増加の3,640億82百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,264,300	△ 27,711	△ 2.1	1,292,011
うち個人預金	853,948	△ 22,974	△ 2.6	876,923
うち法人預金	364,082	1,985	0.5	362,096
うち公金預金	42,950	2,153	5.2	40,796

③ 仙台銀行



- 預金残高は、2018年3月末比120億32百万円増加の1兆561億96百万円となりました。
- 個人預金は、2018年3月末比49億20百万円増加の6,504億3百万円となりました。
- 法人預金は、企業の手持資金の増加などにより、2018年3月末比66億72百万円増加の2,369億3百万円となりました。
- 公金預金は、2018年3月末比5億85百万円増加の1,664億34百万円となりました。

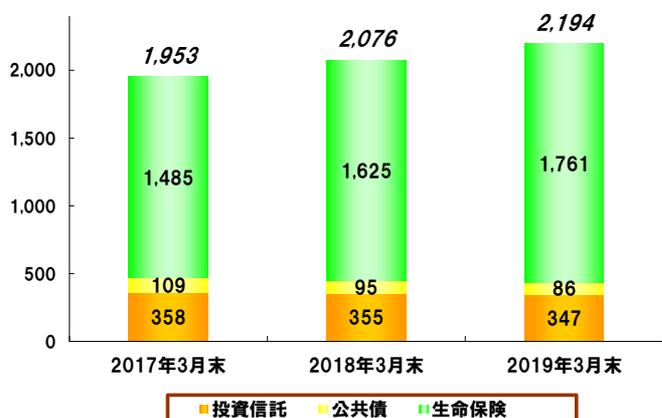
(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預金(譲渡性預金含む)(末残)	1,056,196	12,032	1.1	1,044,163
うち個人預金	650,403	4,920	0.7	645,483
うち法人預金	236,903	6,672	2.8	230,230
うち公金預金	166,434	585	0.3	165,848

5. 預かり資産の状況

① 2行合算

(単位:億円)



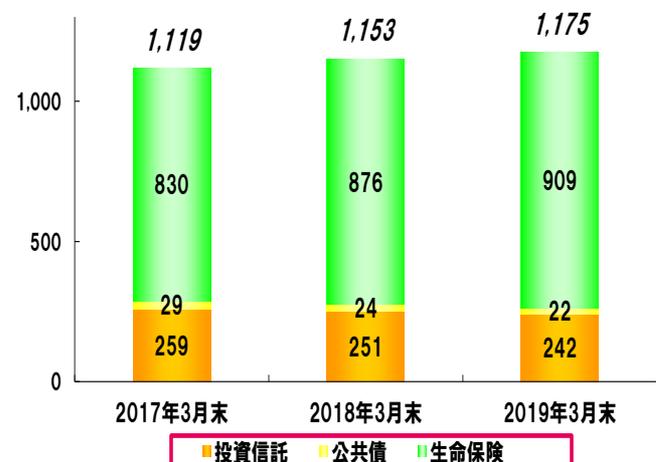
- 2行合算の預かり資産残高は、2018年3月末比118億16百万円増加の2,194億33百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預かり資産(末残)	219,433	11,816	5.6	207,617
うち投資信託	34,715	△ 830	△ 2.3	35,545
うち公共債(国債等)	8,618	△ 932	△ 9.7	9,550
うち生命保険	176,100	13,579	8.3	162,521

② きらやか銀行

(単位:億円)



- 預かり資産残高は、2018年3月末比21億82百万円増加の1,175億3百万円となりました。
- 投資信託は、2018年3月末比8億99百万円減少の242億86百万円となりました。
- 公共債は、2018年3月末比1億97百万円減少の22億64百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの保険運用ニーズへの対応により、2018年3月末比32億80百万円増加の909億51百万円となりました。

(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預かり資産(末残)	117,503	2,182	1.8	115,320
うち投資信託	24,286	△ 899	△ 3.5	25,186
うち公共債(国債等)	2,264	△ 197	△ 8.0	2,462
うち生命保険	90,951	3,280	3.7	87,670

③ 仙台銀行

(単位:億円)



- 預かり資産残高は、2018年3月末比96億33百万円増加の1,019億30百万円となりました。
- 投資信託は、2018年3月末比69百万円増加の104億28百万円となりました。
- 公共債は、2018年3月末比7億34百万円減少の63億53百万円となりました。
- 生命保険は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、2018年3月末比102億98百万円増加の851億48百万円となりました。

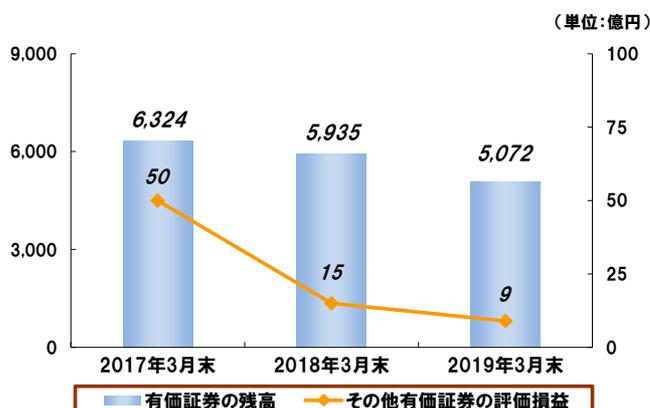
(単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
預かり資産(末残)	101,930	9,633	10.4	92,297
うち投資信託	10,428	69	0.6	10,359
うち公共債(国債等)	6,353	△ 734	△ 10.3	7,087
うち生命保険	85,148	10,298	13.7	74,850

6. 有価証券の状況

① 2行合算

- 2行合算の有価証券残高は、2018年3月末比862億78百万円減少の5,072億51百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、2018年3月末比5億82百万円減少し、9億38百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
有価証券	507,251	△ 86,278	△ 14.5	593,530
国債	109,904	△ 37,291	△ 25.3	147,196
地方債	87,310	6,751	8.3	80,559
社債	154,974	△ 30,256	△ 16.3	185,231
株式	12,326	△ 6,282	△ 33.7	18,608
その他証券	142,735	△ 19,200	△ 11.8	161,935

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	2019年3月末	2018年3月末比	2018年3月末
その他有価証券	938	△ 582	1,521
株式	676	△ 2,178	2,854
債券	3,075	△ 505	3,580
その他	△ 2,812	2,100	△ 4,913

② きらやか銀行

- 有価証券残高は、市場動向を踏まえ、運用ポートフォリオの見直しを実施したことにより、2018年3月末比376億79百万円減少の2,244億21百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、金利の低下により債券等の評価益が増加したことや、株価変動リスクへの対応などから、2018年3月末比6億68百万円増加し、12億63百万円の評価損となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
有価証券	224,421	△ 37,679	△ 14.3	262,100
国債	58,899	△ 24,126	△ 29.0	83,025
地方債	10,657	3,659	52.2	6,997
社債	53,375	△ 54	△ 0.1	53,429
株式	8,992	△ 2,372	△ 20.8	11,364
その他証券	92,496	△ 14,785	△ 13.7	107,282

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

	2019年3月末	2018年3月末比	2018年3月末
その他有価証券	△ 1,263	668	△ 1,932
株式	△ 178	△ 788	610
債券	1,231	385	846
その他	△ 2,316	1,072	△ 3,388

③ 仙台銀行

- 有価証券残高は、投資環境や市場動向に留意しながら資金運用に努めたことから、2018年3月末比485億99百万円減少の2,828億30百万円となりました。
- その他有価証券の評価損益は、株式や債券の売却による評価益の実現や、含み益を抱えていた債券の償還により、2018年3月末比12億51百万円減少し、22億1百万円の評価益となりました。



①有価証券の残高 (単位:百万円、%)

	2019年3月末	2018年3月末比	増減率	2018年3月末
有価証券	282,830	△ 48,599	△ 14.6	331,429
国債	51,005	△ 13,165	△ 20.5	64,170
地方債	76,653	3,092	4.2	73,561
社債	101,599	△ 30,202	△ 22.9	131,801
株式	3,333	△ 3,910	△ 53.9	7,244
その他証券	50,238	△ 4,414	△ 8.0	54,652

②その他有価証券の評価損益 (単位:百万円)

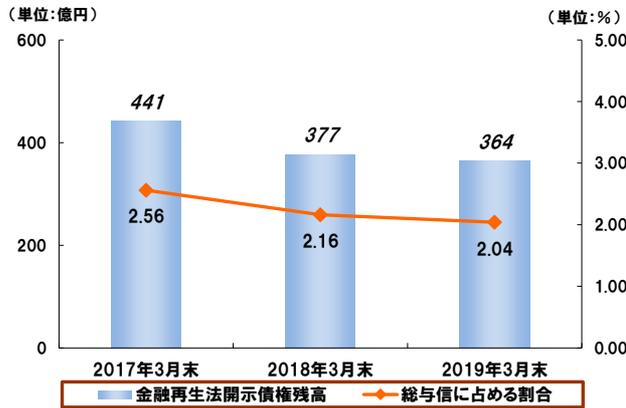
	2019年3月末	2018年3月末比	2018年3月末
その他有価証券	2,201	△ 1,251	3,453
株式	854	△ 1,389	2,244
債券	1,843	△ 890	2,734
その他	△ 496	1,028	△ 1,525

(注) その他有価証券の評価については、決算日の市場価格に基づいております。

7. 金融再生法開示債権の状況

① 2行合算

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2018年3月末比13億41百万円減少の364億58百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2018年3月末比0.12ポイント低下の2.04%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

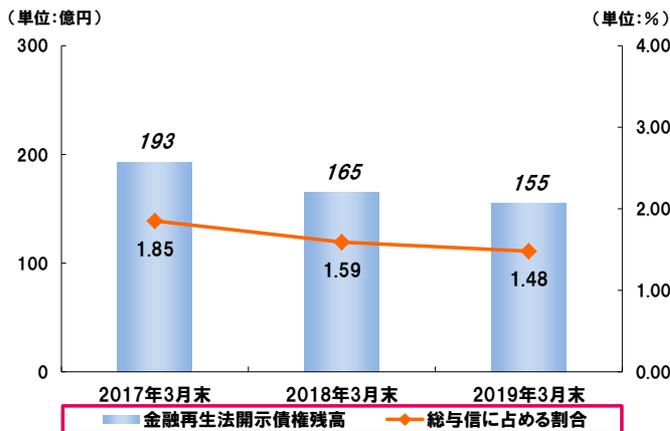
	2019年3月末	2018年3月末比	2018年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,618	△ 125	4,744
危険債権	27,534	△ 1,105	28,639
要管理債権	4,305	△ 109	4,415
合計 (A)	36,458	△ 1,341	37,799
正常債権	1,750,500	46,134	1,704,365
総与信額 (B)	1,786,958	44,793	1,742,165
(A / B)	2.04	△ 0.12	2.16

②金融再生法開示債権の保全状況(2019年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,618	4,618	2,997	1,620	100.00
危険債権	27,534	24,876	20,390	4,485	90.34
要管理債権	4,305	1,015	684	330	23.57
合計	36,458	30,509	24,072	6,437	83.68

② きらやか銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、取引先企業の財務改善支援を組織的に実施した結果、2018年3月末比9億65百万円減少の155億54百万円となりました。
- 総与信額に対する比率は、2018年3月末比0.11ポイント低下の1.48%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

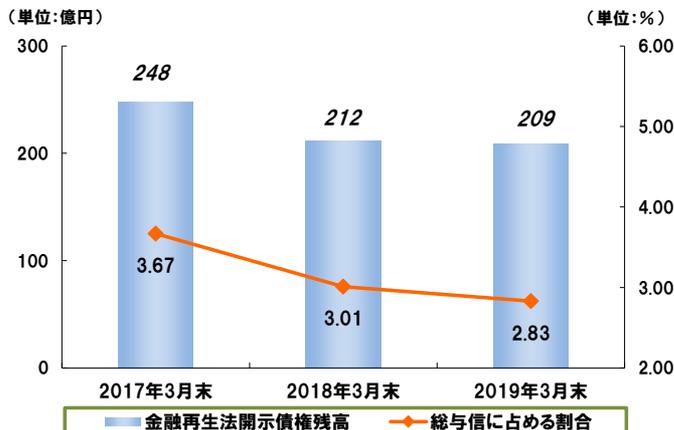
	2019年3月末	2018年3月末比	2018年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,050	△ 291	3,342
危険債権	9,565	△ 817	10,383
要管理債権	2,937	143	2,794
合計 (A)	15,554	△ 965	16,520
正常債権	1,034,588	14,212	1,020,375
総与信額 (B)	1,050,143	13,246	1,036,896
(A / B)	1.48	△ 0.11	1.59

②金融再生法開示債権の保全状況(2019年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,050	3,050	1,833	1,217	100.00
危険債権	9,565	7,563	7,038	524	79.06
要管理債権	2,937	578	272	306	19.69
合計	15,554	11,192	9,144	2,048	71.95

③ 仙台銀行

- 金融再生法開示債権の残高（要管理債権以下の合計額）は、2018年3月末比3億75百万円減少の209億3百万円となりました。
- 総与信額に占める割合は、2018年3月末比0.18ポイント低下の2.83%となりました。



①金融再生法開示債権残高 (単位:百万円、%)

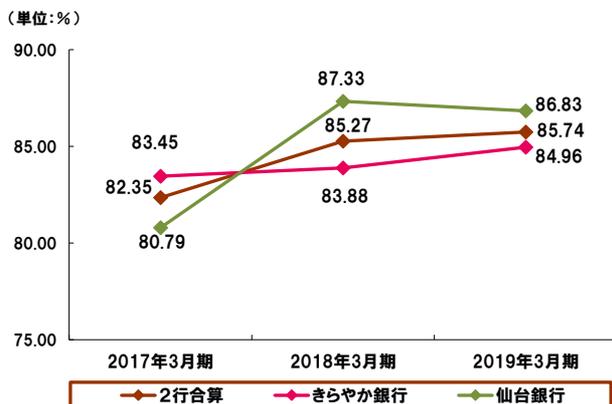
	2019年3月末	2018年3月末比	2018年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,567	166	1,401
危険債権	17,968	△ 287	18,256
要管理債権	1,367	△ 253	1,620
合計 (A)	20,903	△ 375	21,278
正常債権	715,911	31,921	683,990
総与信額 (B)	736,815	31,546	705,268
(A / B)	2.83	△ 0.18	3.01

②金融再生法開示債権の保全状況(2019年3月末) (単位:百万円、%)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等		保全率 (B/A)
			担保保証等	貸倒引当金	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,567	1,567	1,163	403	100.00
危険債権	17,968	17,312	13,351	3,961	96.35
要管理債権	1,367	436	412	24	31.92
合計	20,903	19,317	14,927	4,389	92.40

8. 経営指標

- 2行合算のコアOHR（債券関係損益を除く）は、2018年3月期比0.47ポイント上昇し、85.74%となりました。



(単位:%)

		2019年3月期	2018年3月期比	2018年3月期
コアOHR	2行合算	85.74	0.47	85.27
	きらやか銀行	84.96	1.08	83.88
	仙台銀行	86.83	Δ 0.50	87.33

9. 2020年3月期 業績予想及び配当方針

① じもとホールディングスの連結業績予想及び配当方針

- じもとホールディングスの2020年3月期の連結業績予想は、経常利益22億円、親会社株主に帰属する当期純利益20億円を見込んでおります。
- じもとホールディングスの2019年3月期の1株あたりの期末配当金は、2円50銭を予定しております。また、2020年3月期の年間配当金は、1株あたり5円を予定しております。

(単位:百万円)

	2020年3月期	中間期	(参考) 2019年3月期 実績
経常利益	2,200	600	2,592
親会社株主に帰属する当期純利益	2,000	500	1,630

基準日	中間	期末	年間
配当予想	2円50銭	2円50銭	5円00銭
(参考)2019年3月期	2円50銭	2円50銭	5円00銭

② 子銀行の個別業績予想

- きらやか銀行単体ベースでは、経常利益16億円、当期純利益14億円を見込んでおります。
- 仙台銀行単体ベースでは、経常利益10億円、当期純利益9億円を見込んでおります。

きらやか銀行

(単位:百万円)

	2020年3月期	中間期	(参考) 2019年3月期 実績
経常利益	1,600	500	1,745
当期純利益	1,400	400	1,008

仙台銀行

(単位:百万円)

	2020年3月期	中間期	(参考) 2019年3月期 実績
経常利益	1,000	300	1,007
当期純利益	900	300	840